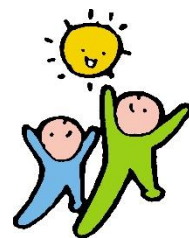


高森きみこ議会報告



子育て・若者支援特別委員会委員長 企画総務委員会委員
台東区青少年問題協議会委員 自由民主党台東総支部女性部長

'22.3-4

新型コロナウイルスは変異しオミクロン株が感染力の強さを示し、今年初めから第6波となる感染拡大になりました。3回目のワクチン接種が順次始まり、その効果が出てきて感染者の数が減少傾向となりまん延防止措置が解除されました。台東区では医療関係者、区民のご協力により23区トップのワクチン接種率となっています。今年で3回目のコロナ禍での春となりますが、卒業、進学、就職、人事異動と環境が変わる時期であり、人の動きが伴うだけに、感染対策を怠る訳には参りません。ことに、保育園・幼稚園・小中学校での感染がオミクロン株で増加しています。小児(5~11歳)へのワクチン接種も始まりました。ワクチンの効果について正確な情報をもとに判断する事が大切です。怪情報に惑わされず、自分の身を守る、家族を守る行動でコロナに負けず日常生活を取り戻したいものです。



台東区議会令和4年第1回定例会 2月9日~3月28日

令和4年度予算審査特別委員会 総括質問を行いました。 3月22日



Q1.防災意識の向上と防災備品を活用した訓練について。

町会や避難所運営委員会といった地域の組織による訓練は防災意識の向上に資する大切な取り組みである。各地域でばらつきの無いように、配備されている資器材を活用した訓練に取り組めるよう応援すべきと思うがどうか？

A 区長:令和3年度の総合防災訓練の様に避難所開設訓練を令和5年度までにすべての避難所で実施する。避難所運営キットを活用して運営方法の確認や防災備品を活用していく。避難所運営委員会等で防災備品を活用した訓練を働きかけ各町会の状況に寄り添った訓練方法の指導を行う。



Q2.健康で過ごすための運動習慣を応援する施策について。

コロナを経験し区民の健康への関心が高まっている。ウォーキングなどの運動習慣を記録できるアプリを作成するなど、誰もが利用できる健康づくりの施策が必要と考えるがどうか？

A 区長:健康づくりは区の重要施策の一つであり一層推進していく必要がある。ウォーキングに関する動画を作成している。ご提案のアプリを含めデジタル技術は有効な手段であり活用しながら施策の充実に努める。

Q3. SDGsの取り組みが進む中で区民の理解を深めることについて

地球環境を守り、気候変動への取り組みは重要であると考え。区長は2050年までに「ゼロカーボンシティ」を目指すと表明され、SDGsの取り組みを進めている。区の具体的取り組みはプラスチックごみの資源化や区有施設における照明設備のLED化、SDGsの推進に繋がる優れた提案をした中小企業に対する上乗せ補助などである。いずれも区民や事業者の協力やSDGsの取り組みへの理解を深める必要があると考えるがどうか？



A 区長:「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現を目指すSDGsについては、すべての人の行動が求められる普遍的なものであり、区民の理解を深めることが重要である。各事業の実施に当たっては情報誌やホームページなどの様々な媒体を通じて周知する。二酸化炭素の排出量削減はSDGsの目標達成に資する。またSDGsの推進に資する事業者の取り組みは企業価値の向上につながる。理解を深め、行動の広がりへつながるよう、周知啓発に努める。



入谷地区センター・区民館がリニューアルオープンします。 4月1日

入谷地区センターは昭和50年に建設され、平成13年に耐震補強工事が実施されましたが、施設の老朽化が著しく、また、入谷地区町会連合会から施設整備の陳情が出され、エレベーター設置などのバリアフリー化が求められていました。この度の改築でこの課題を解決し、さらに電動椅子付き多目的ホールを備えた建物が完成し、利用者の利便性・快適性の向上が実現しました。そして3月末に閉館を迎える入谷老人福祉館の教室・サロン事業はこの建物の集会室を活用し継続いたします。名称は「かがやき長寿ひろば入谷」名称募集に寄せられた77件の中から選ばれました。地域の皆様には2年間ご不便をおかけしました。祝オープン！

竜泉1丁目に障害者のための施設がオープン！

児童発達支援事業所 ほわわ台東 1階 2階
りゅうせん生活介護 3階
りゅうせんグループホーム 4階 5階
障害のある方にとって待望の施設です。明るく、設備も整った施設になっています。(内覧にて)地域の皆様のご理解と温かい見守りがあって、安心して過ごせます。宜しくお願い致します。



新型コロナウイルスワクチン3回目の接種お済みでしょうか？

2回目接種から6か月経過した方から3回目接種の予約を受け付けています

◆接種券は昨年10月までに2回目を接種した方に郵送されています。11月に接種した方へは4月に郵送の予定です。インターネット予約70%になっています。電話予約も待たずに出来た、と好評です！希望される5～11歳児への1・2回目接種も実施しています。

ワクチンの有効性・安全性・副反応などの正確な情報は、台東区 HP、厚生労働省 HP をご覧ください

台東区コロナワクチン コールセンター(午前9時～午後6時土・日・祝日も対応) ☎03-4332-7912

子育て家庭を支援する施策が充実します。 令和4年4月 開始

◆子育て短期支援事業の見直し(ショートステイ) 委託事業者を変更します

★対象年齢の拡大★利用までの手続きの簡素化(要望を実現)

対象年齢が2歳以上18歳に変更されます(一般ショートステイ) 要支援ショートステイ、保護者が急遽入院する場合などに対応する緊急ショートステイを実施します。

◆いっとき保育事業を拡充します。0歳児を育てる保護者の要望に応えます。

対象年齢を 区内在住の0歳(生後6か月以上)～就学前の児童となります

実施場所:ほうらい子育てサポートセンター、定員:2人(1時間あたり)、利用可能日:月～金、時間10時～16時

◆家庭訪問型子育て支援を実施します。

妊産婦が抱える妊娠・出産・育児に関する不安や悩みの相談を受け、地域の親同士の繋がりを助け、育児不安や孤立感を和らげます。「妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援」の更なる充実を図ります。

対象者☆妊婦、または産後1年未満児のいる家庭で不安があり、相談者のいない等支援が必要と判断される方。実施方法☆対象者の自宅へ訪問し、妊娠・出産・育児に関する不安を聴き相談支援を行います。また、交流の場への誘い出しや交流の場へ同行も行います。一世帯で原則3回が上限となります。利用者の負担なし

◆ファミリーサポートセンター事業を見直します。

新型コロナウイルス感染症対策の費用負担、提供会員充足、謝礼金額の計算方法の簡素化を図ります。

謝礼金額を1時間当たり100円増額し、月～金1時間800円に、土・日・祝日1時間900円となります。

